

経営比較分析表（令和2年度決算）

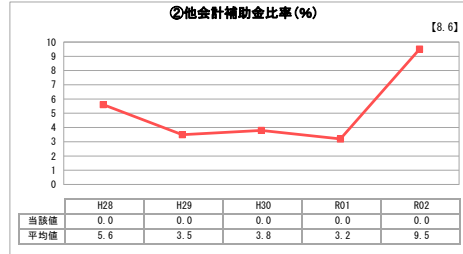
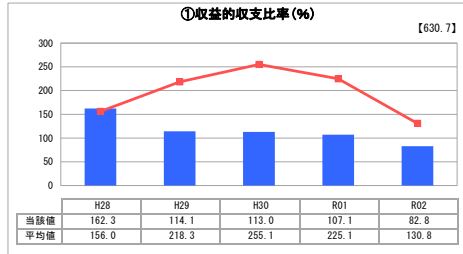
岐阜県大垣市 東外側駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	27	

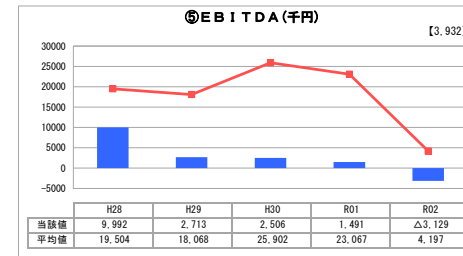
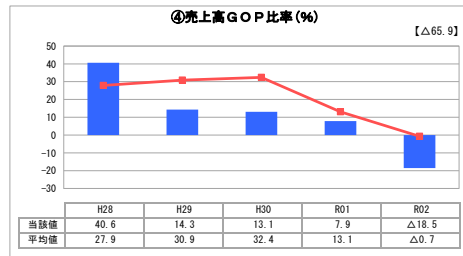
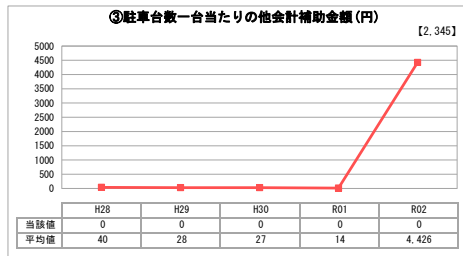
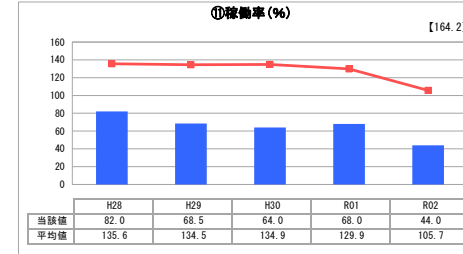
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	5,471
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
200	200	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

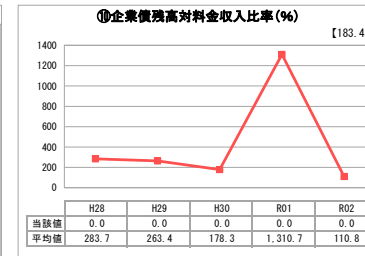


⑦敷地の地価(千円)

77,931

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について

平成25年度で地方債の償還が終了したため、平成26年度以降単年度収支は黒字で推移してきたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用者の減少による収入減のため赤字となっている。

2. 資産等の状況について

東外側駐車場は平成5年度建設で他の立体式駐車場と比べて比較的新しい駐車場である。駐車場整備計画において今後も維持していく駐車場として位置づけられているため、引き続き適切な維持管理を進めていく。

3. 利用の状況について

収容台数200台という比較的大規模な駐車場であるため、稼働率としては平均を下回っているが、令和元年度までは安定した収入を確保できている。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用者の減少により稼働率が大幅に低下している。

全体総括

東外側駐車場は他の立体式駐車場と比べて施設が比較的新しく地方債の償還も終了している。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により収支状況は赤字となっているが、駅から徒歩圏内という立地条件もあり今後も需要は見込まれるため、引き続き適切に管理運営を進めていく。

経営比較分析表（令和2年度決算）

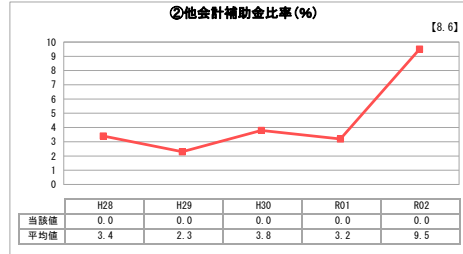
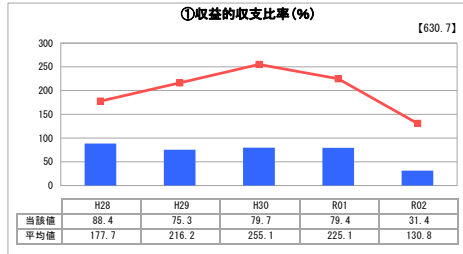
岐阜県大垣市 清水駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	44	

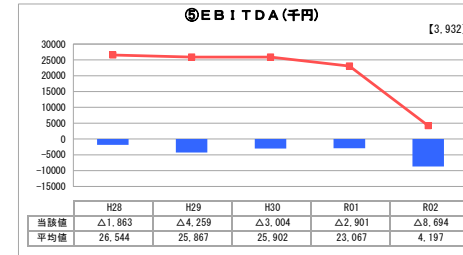
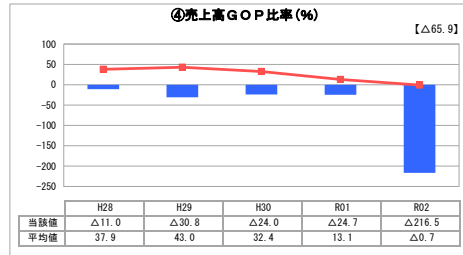
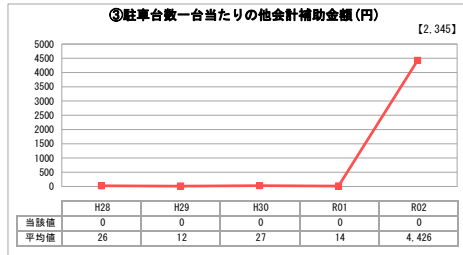
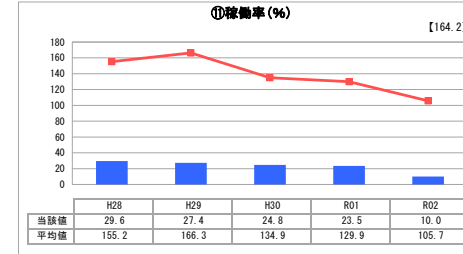
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	5,259
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
230	200	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

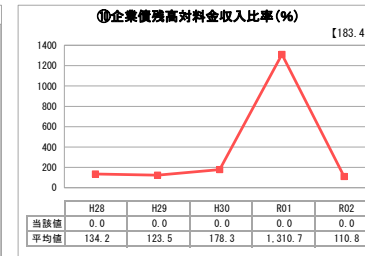


⑦敷地の地価(千円)

157,745

⑧設備投資見込額(千円)

221,900



分析欄

1. 収益等の状況について

駅からやや遠いという立地条件もあり、年々利用者が減少しており、当駐車場の収益だけで維持管理費を賄えていない状況である。一般会計からの繰入はないが、他の駐車場の収益で補っている状況が続いている。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用者の大幅な減少により赤字が拡大している。

2. 資産等の状況について

清水駐車場は昭和52年建設で耐用年数を経過し老朽化がかなり進んでいる。駐車場整備計画において利用しやすい平面駐車場への転換を図り健全な運営を目指すものとされており令和4年度以降解体整備を予定している。

3. 利用の状況について

駅から少し遠いという立地条件や、周辺にコインパーキングが増えていることもあり、年々利用者は減少している。令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うまつり等イベントの中止の影響により大幅な減少となっている。

全体総括

建設後40年を越え、施設の全面改修が迫られている状況である。今後も大幅な利用者の増加も見込まれない中、駐車場整備計画に基づき利用しやすい平面駐車場への転換を図り健全な運営を進めていく。

経営比較分析表（令和2年度決算）

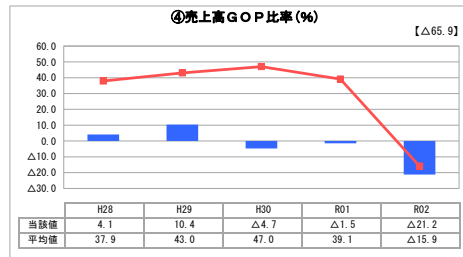
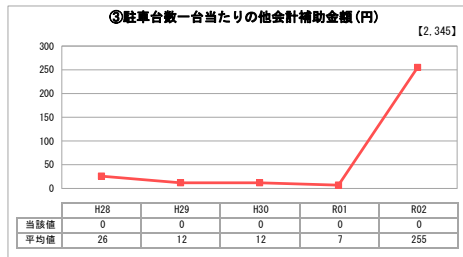
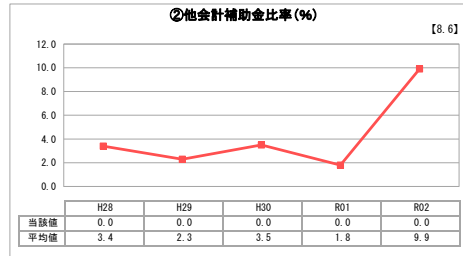
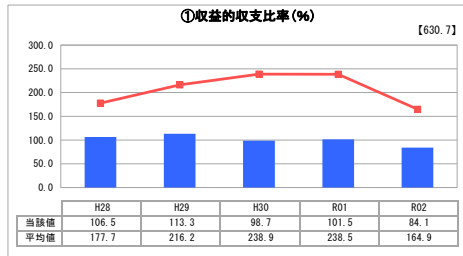
岐阜県大垣市 丸の内駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	46	

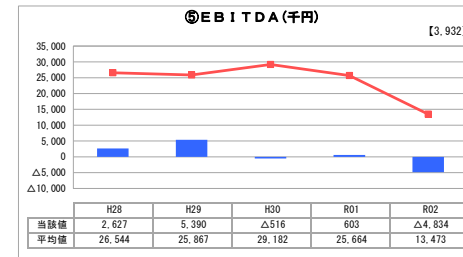
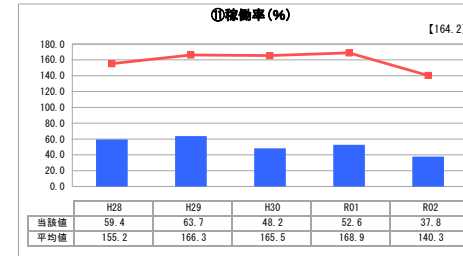
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	有	6,233
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
251	200	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

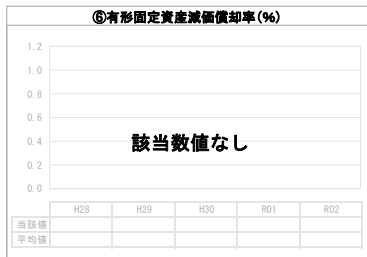
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

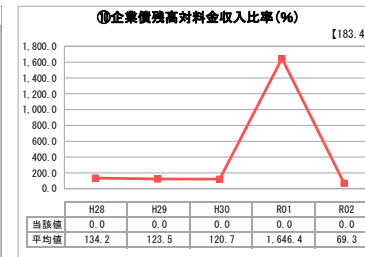


⑦敷地の地価(千円)

148,566

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について

丸の内駐車場は、市役所に隣接する駐車場に駐車場の事務所を設置しており、他の駐車場に振り分けることの出来ない負担金や基金への積立金などの費用を計上している。

上記理由もあり、収支状況としては令和元年度までは収入と支出がほぼ同額の状況で推移してきたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響に伴う収入減により赤字となっている。

2. 資産等の状況について

丸の内駐車場は昭和50年に建設しており、耐用年数も経過し老朽化も進んでいる。

駐車場整備計画において、今後も維持し改修等を行う場合は、周辺土地利用状況の変化や駐車場需給バランスを考慮し規模等を検討する施設として位置づけられており、周辺の公共施設の整備に合わせ施設のあり方を検討していく。

3. 利用の状況について

収容台数が251台の大規模駐車場であるため、稼働率は平均を下回っている。

定期利用が中心で、中心市街地のイベント開催時に一般利用が増加する状況であるが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うイベント中止の影響により、稼働率が減少している。

全体総括

建設後45年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる駐車場である。

隣接する市役所新庁舎も完成した中で、他の周辺公共施設の整備に合わせ駐車場のあり方を検討していく。

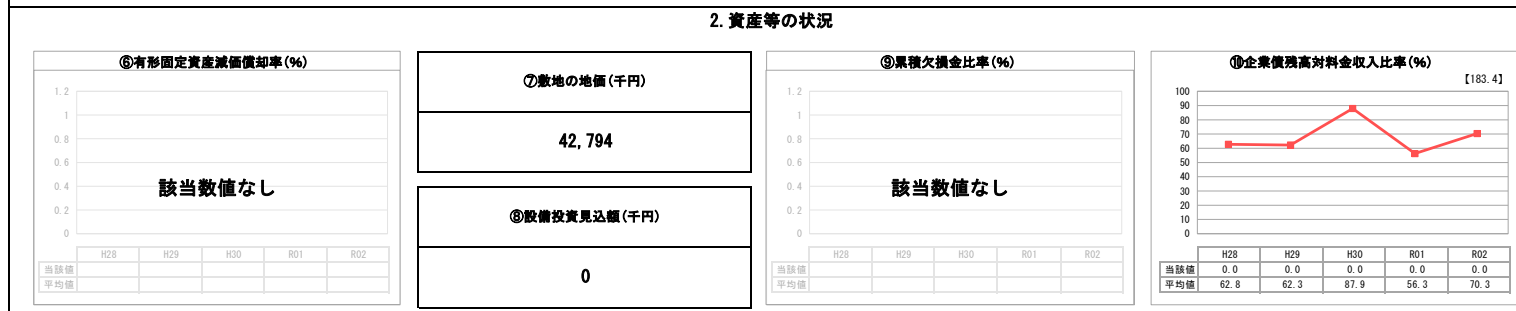
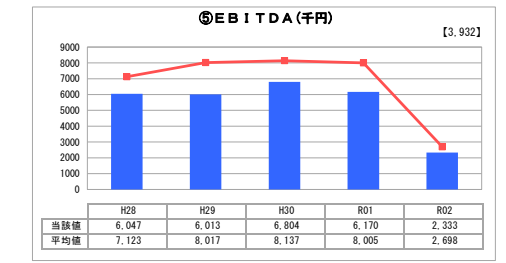
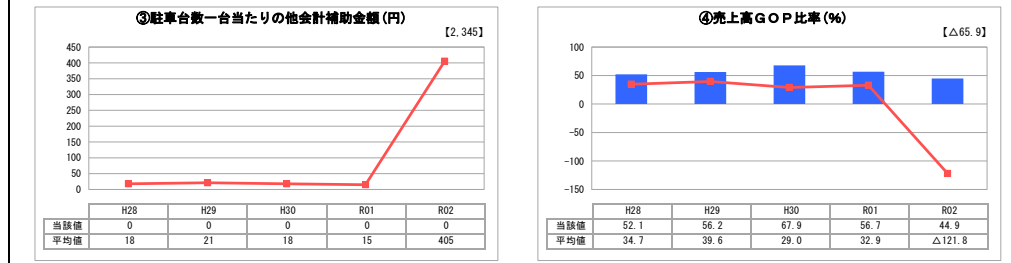
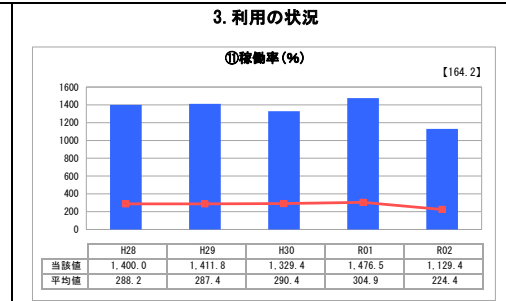
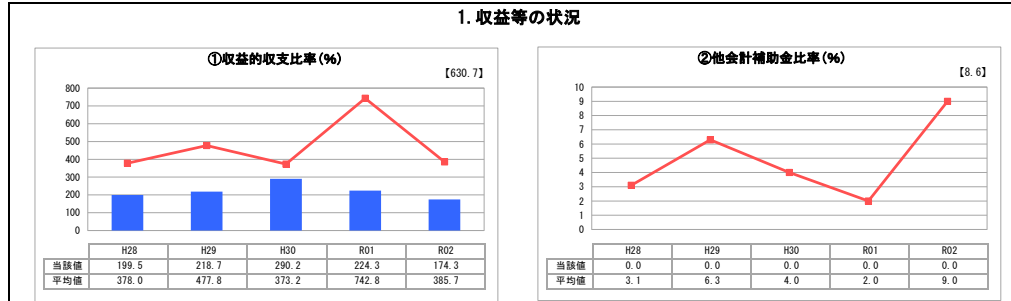
経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県大垣市 駅南駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	33	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	443
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
17	300	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均



分析欄

1. 収益等の状況について
 収容台数が17台の大垣駅に隣接する駐車場である。広場式の駐車場であるため維持管理費は少なく収益性は高いが、20分以内無料であり短時間の利用が多いため稼働率は平均を大きく上回っているが、収支比率は平均を下回っている。駅周辺には1日料金設定を設けたコインパーキングが増加しており、収入は下降傾向にある。

2. 資産等の状況について
 広場式で自動料金精算機もリース契約であるため、駅南駐車場の資産は土地のみである。駐車場整備計画において今後も維持していく駐車場として位置づけられており、適切に管理運営をしていく。

3. 利用の状況について
 大垣駅に隣接していることから、20分以内無料であることから利用者は多く稼働率は平均を大きく上回っている。

全体総括

大垣駅に隣接しており、収容台数は少ないが需要の高い駐車場である。また、広場式であるため維持管理コストも低く収益性の高い駐車場である。引き続きサービスの向上に努めていくことで収入増を進めていきたい。

経営比較分析表（令和2年度決算）

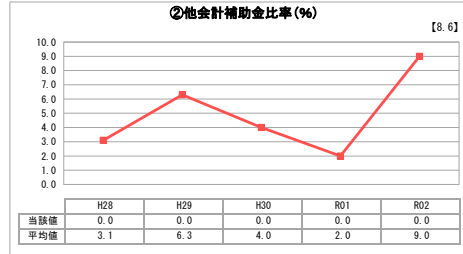
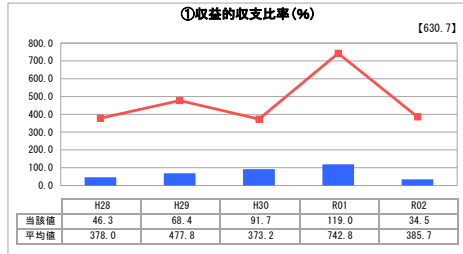
岐阜県大垣市 駅北駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	8	

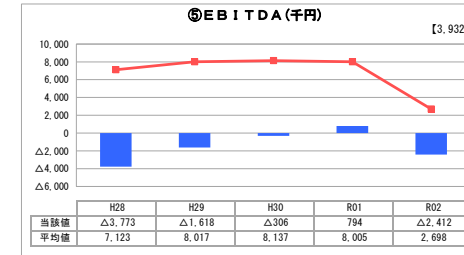
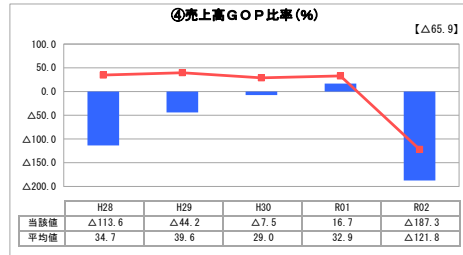
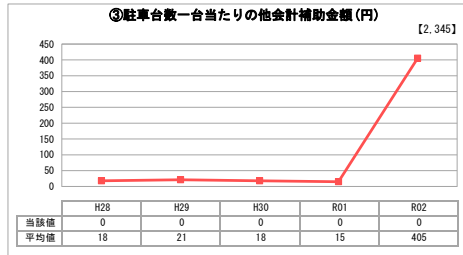
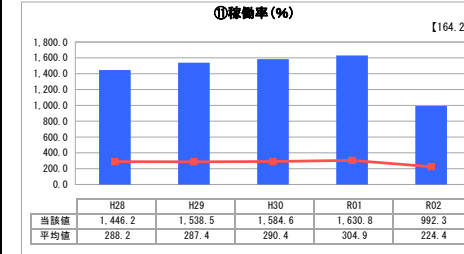
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	387
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
13	300	無

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

駅北駐車場は平成24年に大垣駅北口広場整備の完了に合わせて供用開始した駐車場であるが、駅に送迎するための20分以内の無料駐車が大半を占めており、当該駐車場の収入で維持管理費が賸えておらず他の駐車場の収益で補っている状況である。

2. 資産等の状況について

広場式で自動精算機もリース契約であるため、駅北駐車場の資産は土地のみである。駐車場整備計画において今後も維持していく駐車場として位置づけられており、適切に維持管理していく。

3. 利用の状況について

大垣駅に隣接している駐車場であるため利用者は多く稼働率は平均を大きく上回っているが、20分以内の無料駐車が大半を占めており、収益に反映されない。令和2年度については新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う利用者の減少により稼働率は大幅に減少している。

2. 資産等の状況

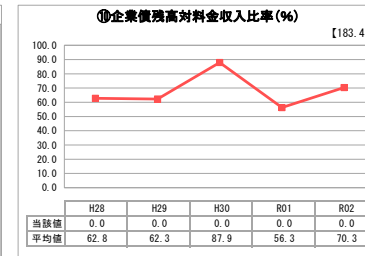


⑦敷地の地価(千円)

30,883

⑧設備投資見込額(千円)

0



全体総括

駅北駐車場は駅利用者の送迎用として整備された駐車場であり、稼働率が高く需要度の高い駐車場であるため、引き続きサービスの向上に努めていきたい。